

# 経営学部

## ディプロマ・ポリシー

経営学部では、学生が人間としての倫理観を備え、経営学の理論と実践について主体的に基礎から応用、発展へと段階的に学び、次の能力を持つことで学位授与を行います。

- ① 経営者または管理者としての経営資源のマネジメント能力を有している人
- ② グローバルな舞台で活躍するためのグローバル・マインドを有している人
- ③ 自ら新たな事業を企画し、運営するアントレプレナーシップ(起業家精神)を有している人
- ④ 資格等を取得して、専門的知識を活かして社会に貢献できる能力を有している人

## カリキュラム・ポリシー

多様化する社会の中で個性が問われる時代では、豊かで鋭い感性、柔軟な思考力、挑戦できる創造力を持った人材が求められています。経営学部では、幅広い教養と専門知識について、主体的に基礎から応用、発展へと段階的に学ぶことができるのと同時に、社会との関わりを重視した実践的な学びができるようなカリキュラムになっています。

経営学を初めて学ぶ人が、経営学に関する多様な科目を自主的に選択することは難しいことから、系統的に体系だった学習ができるように、以下の3つのコースを設定しています。

### 1 組織マネジメントコース

現代社会は、会社や国の省庁、地方自治体、学校などをはじめとする多くの組織によって成り立っています。私達も、会社員として、学生として、また市民として、これらの組織に属しながら生活を送っています。私達が密接に関わっている組織の特徴や性質を理解することは大変重要です。本コースでは、組織の特徴を理解し、どのような管理したらよいかを次の3点に主眼を置きながら深く学び、実践的な力を身に付けることを目標とします。①組織を作り上げ、作り上げた組織を動かす仕組みについての理解を進めます。②その上で、組織を取り巻く環境の変化にどのように対処すればよいかについて学びます。③環境問題や技術革新、企業倫理のような現代的課題を取り上げ、そこで組織が成果を上げるためのマネジメントについて学びます。

### 2 生産マーケティングコース

生産マーケティングコースは、企業の内部におけるモノの流れを中心に企業経営のメカニズムを学ぶコースです。このコースの特徴は次の3つの点にあります。①開発・生産・物流・販売というモノの流れを、それに沿った形で網羅的に配置された科目を受講することで体系的に学んでいきます。②グローバル化時代に応じて設置された多数の科目の受講を通じ、国際的なモノの流れを学びます。③地域経済への貢献という視点から設置された中小製造業経営に関連する科目において展開される実践教育を通じ、理論と実践の両面から企業内のモノの流れを理解させます。

### 3 会計コース

この社会でいかなる活動を行うにも資金が必要となる。資金を適切に管理できなければ、その活動実体を存続させることは不可能です。資金の適切な管理に関する様々な知識や技法を習得するため、会計コースでは以下の3点をステップ・アップ方式で学習を進めます。①資金の調達・運用とその結果の計算・記録方法を学びます。②記録されたデータから財務情報を作成・表示する方法を学びます。③作成された財務情報を企業経営に活用する方法を学びます。

## アドミッション・ポリシー

地球規模での競争の激化、情報化の進展、地球環境問題の深刻化など、社会を取り巻く環境はかつてないほどのスピードと規模で変化しています。経営学部では、このような環境変化に対応するため、大学の建学の精神である「行学一体」「報恩感謝」のもとに、新しい経営理論に基づく実践を重視した教育で、「企業を通じて社会に役立ち、自己実現できる人材の育成」を目標としています。

経営学とは、「ヒト(人事・労務)・モノ(生産)・カネ(会計・財務)・情報」といった経営資源を有効に活用する「知識」を身につけ、企業を効率的に運営するための「思考力」を養っていく学問です。経営学部では、これらの経営資源を有効に活用するためのさまざまな「経営理論」を学び、現代社会が直面する諸問題に対して戦略提言できる「豊かな発想力」を身に付け、将来、「社会でリーダーシップを発揮できる人間」に成長することを望む人を受け入れたいと考えています。